

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

上場会社名 株式会社アルファ 上場取引所 東
 コード番号 3434 URL <https://www.kk-alpha.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 塚野 哲幸
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総合企画部長 (氏名) 渡辺 勝俊 (TEL) 045-787-8401
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け個別ミーティング有)

(百万円未満切捨)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	52,384	△4.6	290	△32.6	862	138.5	922	—
2025年3月期第3四半期	54,904	0.7	431	△74.3	361	△85.1	31	△98.1

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,300百万円(166.8%) 2025年3月期第3四半期 487百万円(△89.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	96.03	—
2025年3月期第3四半期	3.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	73,148	37,312	49.9	3,801.35
2025年3月期	67,781	36,371	52.3	3,695.98

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 36,535百万円 2025年3月期 35,461百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	20.00	—	28.00	48.00
2026年3月期	—	20.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	70,000	△4.8	1,500	64.1	1,400	129.7	900	—	93.70	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期3Q	10,200,000株	2025年3月期	10,200,000株
2026年3月期3Q	588,767株	2025年3月期	605,323株
2026年3月期3Q	9,604,310株	2025年3月期3Q	9,589,562株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では関税政策の影響から景気の減速が懸念されるものの、内需を中心に底堅く推移し、欧州では景気の持ち直しの動きがみられました。日本では、企業収益の回復を背景に設備投資の持ち直しや、雇用・所得環境に改善の動きがみられる等、緩やかな回復基調で推移しました。一方、米国関税政策による影響や、金融資本市場の変動、地政学的リスクの高まり等から不確実性が増しており、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループの主要関連産業であります自動車産業におきましては、欧米は堅調であったものの、日本では米国との自動車関税の引き上げ影響による輸出台数の減少等により低調に推移しました。アジア地域におきましては市場構造の変化が加速しており、中国市場での日系車の一層の販売不振、タイでも金利上昇の影響を受けて販売不振となる等、厳しい状況が続いております。セキュリティ機器事業の関連産業であります住宅産業におきましては、新築住宅着工戸数は、4月からの新築住宅への省エネ基準適合義務化による駆け込み着工の反動減は解消されつつあるものの、人件費上昇と資材高騰の影響等により低調に推移しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は52,384百万円と前年同四半期に比べ、2,519百万円(△4.6%)の減収となりました。利益につきましては、それぞれ営業利益は290百万円と前年同四半期に比べ、140百万円(△32.6%)の減益、経常利益は862百万円と前年同四半期に比べ、501百万円(138.5%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は922百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益31百万円)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

① 自動車部品事業(日本)

自動車部品事業(日本)におきましては、得意先での生産台数は国内・輸出ともに減産となった影響を受け、売上高は7,427百万円と前年同四半期に比べ、199百万円(△2.6%)の減収となりました。一部費用回収の遅れがあったものの徹底した合理化改善と固定費抑制の効果により、セグメント利益は441百万円と前年同四半期と比べ237百万円(117.0%)の増益となりました。

② 自動車部品事業(北米)

自動車部品事業(北米)におきましては、得意先での生産台数は引き続き減少し、売上高は11,511百万円と前年同四半期に比べ、1,831百万円(△13.7%)の減収となりました。合理化活動と新分野の新製品ロス改善の効果は見られたものの、減収影響などにより、セグメント損失は398百万円(前年同四半期はセグメント損失120百万円)となりました。

③ 自動車部品事業(アジア)

自動車部品事業(アジア)におきましては、中国ではローカル系の受注車両の販売が好調であったものの日系車の販売不振・減産影響を大きく受け続けていること、タイでの販売不振・減産の継続等により、売上高は11,038百万円と前年同四半期に比べ、601百万円(△5.2%)の減収となりました。徹底した改善活動に加え、中国では事業構造改革として拠点集約等による生産能力適正化等を推進いたしました。減収影響が大きく、セグメント損失は942百万円(前年同四半期はセグメント損失762百万円)となりました。

④ 自動車部品事業(欧州)

自動車部品事業(欧州)におきましては、受注量の増加により、売上高は13,700百万円と前年同四半期に比べ、730百万円(5.6%)の増収となりました。合理化活動の進展が図れたことにより、セグメント利益は387百万円(前年同四半期はセグメント利益28百万円)となりました。

⑤ セキュリティ機器事業(日本)

セキュリティ機器事業(日本)におきましては、利便性向上やDX推進を背景にスマートロックの需要が拡大しつつあります。一方で22年度から続いた大手賃貸住宅事業者向けプロジェクトの昨年度末での完遂により、住宅関連製品の売上は前年同四半期を下回りました。

ロッカーシステム事業については、大型空港へマルチ決済対応ターミナルロッカーと遠隔管理システムを導入しました。また、オペレーション事業も依然堅調な推移を示しています。一方で、大型投資に慎重なレジャーロッカー顧客の需要が伸び悩んでいることで全体では売上が前年同四半期を下回りました。

この結果、売上高は9,168百万円と前年同四半期に比べ、867百万円(△8.6%)の減収、セグメント利益は997百万円と前年同四半期に比べ、184百万円(△15.6%)の減益となりました。

⑥ セキュリティ機器事業(海外)

セキュリティ機器事業(海外)におきましては、日本向け製品(電気錠)の生産の減少により、売上高は6,492百万円と前年同四半期に比べ、761百万円(△10.5%)の減収、セグメント利益は551百万円と前年同四半期に比べ、144百万円(△20.8%)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は73,148百万円となり、前連結会計年度末に比べ、5,367百万円の増加となりました。また、有利子負債は前連結会計年度末に比べ、2,279百万円増加し、20,030百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が987百万円増加、受取手形及び売掛金が951百万円増加したこと等により、3,008百万円増加し、41,838百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券が1,927百万円増加、有形固定資産のその他が1,004百万円増加したこと等により、2,362百万円増加し、31,305百万円となりました。

流動負債は、短期借入金が2,475百万円増加、流動負債のその他が1,610百万円増加したこと等により、4,188百万円増加し、29,034百万円となりました。

固定負債は、リース債務が227百万円減少しましたが、固定負債のその他が426百万円増加したこと等により、237百万円増加し、6,801百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が764百万円減少しましたが、その他有価証券評価差額金が1,256百万円増加、利益剰余金が565百万円増加したこと等により、941百万円増加し、37,312百万円となりました。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度末の52.3%から2.4ポイント減少し、49.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年5月13日公表の予想値から変更しておりません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,247	11,234
受取手形及び売掛金	13,843	14,794
電子記録債権	1,316	1,386
商品及び製品	2,584	2,977
仕掛品	1,616	1,684
原材料及び貯蔵品	6,692	6,793
その他	2,555	2,997
貸倒引当金	△25	△30
流動資産合計	38,829	41,838
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,852	4,728
機械装置及び運搬具(純額)	7,541	7,456
工具、器具及び備品(純額)	1,998	1,936
土地	2,106	2,104
その他(純額)	4,168	5,173
有形固定資産合計	20,668	21,399
無形固定資産		
のれん	620	497
その他	2,469	2,360
無形固定資産合計	3,089	2,858
投資その他の資産		
投資有価証券	3,993	5,920
その他	1,326	1,257
貸倒引当金	△135	△130
投資その他の資産合計	5,185	7,048
固定資産合計	28,943	31,305
繰延資産	7	4
資産合計	67,781	73,148
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,015	8,380
短期借入金	11,886	14,362
未払法人税等	532	236
賞与引当金	575	631
製品保証引当金	301	280
その他	3,533	5,143
流動負債合計	24,846	29,034
固定負債		
社債	1,015	1,010
長期借入金	2,861	2,858
退職給付に係る負債	317	364
リース債務	1,443	1,216
その他	925	1,352
固定負債合計	6,563	6,801
負債合計	31,409	35,836

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	2,968	2,970
利益剰余金	19,140	19,705
自己株式	△540	△526
株主資本合計	24,328	24,910
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,268	3,525
為替換算調整勘定	8,864	8,099
その他の包括利益累計額合計	11,133	11,625
非支配株主持分	909	776
純資産合計	36,371	37,312
負債純資産合計	67,781	73,148

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	54,904	52,384
売上原価	47,633	45,031
売上総利益	7,270	7,353
販売費及び一般管理費	6,839	7,062
営業利益	431	290
営業外収益		
受取利息	54	46
受取配当金	97	101
為替差益	-	629
不動産賃貸料	19	15
助成金収入	54	45
その他	99	75
営業外収益合計	326	913
営業外費用		
支払利息	264	277
為替差損	87	-
その他	43	63
営業外費用合計	396	341
経常利益	361	862
特別利益		
固定資産売却益	10	16
子会社清算益	10	386
特別利益合計	20	403
特別損失		
固定資産売却損	69	5
固定資産除却損	190	43
災害による損失	21	-
事業構造改善費用	-	30
特別損失合計	281	78
税金等調整前四半期純利益	101	1,187
法人税、住民税及び事業税	395	351
法人税等調整額	△239	8
法人税等合計	156	359
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△55	827
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△86	△95
親会社株主に帰属する四半期純利益	31	922

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△55	827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△231	1,256
為替換算調整勘定	773	△783
その他の包括利益合計	542	472
四半期包括利益	487	1,300
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	545	1,414
非支配株主に係る四半期包括利益	△57	△113

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	6,098	13,330	10,891	12,639	9,966	1,940	54,865	—	54,865
その他の収益	—	—	—	—	39	—	39	—	39
外部顧客への 売上高	6,098	13,330	10,891	12,639	10,005	1,940	54,904	—	54,904
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,529	13	748	331	30	5,314	7,967	△7,967	—
計	7,627	13,343	11,640	12,970	10,035	7,254	62,871	△7,967	54,904
セグメント利益 又は損失(△)	203	△120	△762	28	1,181	696	1,226	△795	431

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去52百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△848百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	5,885	11,497	10,161	13,526	9,120	2,165	52,357	—	52,357
その他の収益	—	—	—	—	27	—	27	—	27
外部顧客への 売上高	5,885	11,497	10,161	13,526	9,147	2,165	52,384	—	52,384
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,542	14	876	173	21	4,327	6,955	△6,955	—
計	7,427	11,511	11,038	13,700	9,168	6,492	59,340	△6,955	52,384
セグメント利益 又は損失(△)	441	△398	△942	387	997	551	1,036	△745	290

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去33百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△778百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,662百万円	2,680百万円
のれんの償却額	149	150